

令和 6 年度  
運営に関する計画



大阪市立高倉小学校

令和 6 年 4 月

大阪市立高倉小学校 令和 6 年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）  
1 学校運営の中期目標**現状と課題**

本校は、学校教育目標を昨年度「『ともに幸せに生きる力』を育てる」と変更し、「どの子も伸びる　どの子も伸ばす」をキャッチフレーズとして教育活動をスタートした。児童がこれからを幸せに生きていくためには、「自分と向き合う力」「人とつながる力」を育てることが大切だととらえ、重点的に取り組みを進めていく。

児童は全体的には落ち着いて学習活動に取り組んでいる。しかし一方で、いじめ事案や友達同士のトラブルなどの事案が複数件起こり、これまで以上に人権を大切にした教育の必要性を実感している。また、不登校や精神的な閉塞感を抱える児童も増えており、一人一人の児童に寄り添った支援も喫緊の課題である。

また、いつ発生するかわからない「南海トラフ」などの災害に備えた防災教育や防犯教育についても、常に意識を高めておく取組も重視する。

昨年 5 月に新型コロナウイルス感染症が 5 類に移行されたとはいえ、約 3 年間のコロナ下での制限された教育活動や大きく変化する社会状況の影響は大きく、ビルドばかりでスクラップのない学校業務に、教職員は少なからず疲弊している。

そこで、児童の安全・安心感だけに着目するのではなく、教職員が安心して働く、働きがいを感じる職場環境改善こそ重視して取り組んでいきたい。全教職員が全児童を見ていく意識を高め、学級経営や学習指導も一人の担任で進めるのではなく複数人の教員がかかわる体制で臨んでいく。また、その他様々な業務も教職員全員で「協働」して取り組んでいくことで、少しでも教職員にゆとりを生み、できる限り児童に寄り添ってかかわれるようしていきたい。保護者、地域住民にも学校教育を支える当事者意識を持って関わっていただくためにも、学校からの情報発信の内容や方法にも工夫したい。

学力・体力の向上に関しては、「主体的な学び」を生み出す授業をめざし、「探求」する学習活動を重視したい。また、ＩＣＴの効果的な活用も積極的に進める。

健康教育においては、現時点の体力・健康だけでなく、児童の長い人生のこれからを考え、健康についての知識と実践を大事にした効果的な取組を進めていく。

**中期目標****【安全・安心な教育の推進】**

○小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を 85 % 以上にする。(R 5 年度 81. 4 %)

・小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 84 % 以上にする。(R 5 年度 79. 5 %)

**【未来を切り拓く学力・体力の向上】**

○令和 7 年度の小学校学力経年調査における平均標準化得点を 102 点以上にする。  
(R 5 年 4 学年平均 99. 8)

○令和 7 年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査の体力合計点を、男女とも全国平均以上で維持する。(R 5 年度男子 52.92 全国平均 52.59 女子 54.07 全国平均 54.28)

### **【学びを支える教育環境の充実】**

○令和7年度末の校内調査の「日々の学校活動の中で学習者用端末を活用している」の項目について、「ほぼ毎日」と答える児童の割合を、100%にする。

(R5年度2月時点の端末活用率50.3%)

○令和7年度の時間外勤務時間の累計平均を校種別平均より少なくする。

(R5年度30h16m、校種別平均25h18m)

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

### **【安全・安心な教育の推進】**

・小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を83%以上にする。(R5年度81.4%)

・小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を81%以上にする。(R5年度79.5%)

#### **学校の年度目標**

・校内調査における「緊急時の避難の仕方がわかる」の肯定的回答回答率を年度当初より上げる。(5月・10月・2月調査)

### **【未来を切り拓く学力・体力の向上】**

・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を43%以上にする。(R5年度41.9%)

・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を72%以上にする。(R5年度70.7%)

#### **学校の年度目標**

・校内調査における「健康的な生活を送るために気を付けていることがある」の肯定的回答回答率を年度当初より上げる。(5月・10月・2月調査)

### **【学びを支える教育環境の充実】**

・授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の55%以上にする。[ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く] (R5年度平均活用率は50.3%)

・第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1(1か月45時間以内、1年間360時間以内)を満たす教職員の割合を40%以上にする。(R5年度2月時点で37.5%)

#### **学校の目標**

・小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を77%以上にする。(R5年度75.2%)

## 3 本年度の自己評価結果の総括

## (様式 2)

## 大阪市立高倉小学校 令和 6 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 1 安全・安心な教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を 83 %以上にする。（R 5 年度 81.4 %）</li> <li>・小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 81 %以上にする。（R 5 年度 79.5 %）</li> </ul>	
<p>学校の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校内調査における「健康的な生活を送るために気を付けていることがある」の肯定的回答率を年度当初より上げる。（5月・10月・2月調査）</li> </ul>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>●いじめを起こさないための取り組みを継続して行い、いじめ事案が発生した場合は全教職員で情報共有し協力して対応することで、いじめを許さない環境を醸成する。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども同士、子どもと大人の認め合う関係づくりを継続して進める。</li> <li>・いじめ事案発生時には、全教職員の情報共有と迅速なチーム対応を進める。</li> </ul>	
<p>取組内容②【2 豊かな心の育成】</p> <p>●どの人のことも認められる人権教育を各学年で進める。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権教育の年間指導計画を作成し、各学年の実態に応じた取組を実践する。</li> </ul>	
<p>取組内容③【施策 1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>●「防災」「減災」教育に取り組む。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災・減災に関わる授業を各学年年間 2 回以上実施する。</li> <li>・防災マニュアル（警備及び防災の計画）の活用日を学期 1 回設け、緊急時の教職員個々の役割や全体の動きを確認する。</li> </ul>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

## (様式 2)

## 大阪市立高倉小学校 令和 6 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【最重要目標 2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を 43 %以上にする。(R5 年度 41.9%)</li> <li>・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を 72 %以上にする。(R5 年度 70.7%)</li> </ul> <p><b>学校の年度目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校内調査における「健康的な生活を送るために気を付けていることがある」の肯定的回答率を年度当初より上げる。(5月・10月・2月調査)</li> </ul>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p><b>取組内容④【4 誰一人取り残さない学力の増加】</b></p> <p>●学力向上に向けて授業力向上に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が主体的に学ぶ授業を進める。</li> <li>・学級で話し合う活動を効果的に取り入れる。</li> </ul> <p><b>指標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業に関わる研修会を工夫して実施する。</li> <li>・児童が主体的に学ぶ力を高めることをめざす授業を、各教員年間 1 回以上公開する。</li> </ul>	
<p><b>取組内容⑤【5 健やかな体の育成】</b></p> <p>●児童の体力・運動能力の向上に向けて、体育科学習の充実を図ったり、運動や遊びの環境を整えたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間 3 回以上体育的行事を実施し、運動に親しむ機会を設ける。また、がんばりカード等を活用して振り返りを行い、運動に対して意欲が高まるようにする。</li> </ul> <p><b>指標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校内調査「体育学習が好き」の肯定的回答率を上げる(5月・10月・2月)</li> </ul>	
<p><b>取組内容⑥【5 健やかな体の育成】</b></p> <p>●児童の発達段階に応じた健康に関する指導を推進し、日常より<b>基本的生活習慣</b>について徹底するように取り組む。 (健康に関する現代的課題への対応)</p> <p><b>指標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全な生活についての意識を高め、昨年度より外科での来室数を減少させる。 (R5 年度 2476 件)</li> </ul>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
次年度への改善点

## (様式 2)

## 大阪市立高倉小学校 令和 6 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>授業日において、児童の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 5 5 % 以上にする。〔ただし、事務局が定める学校行事等 I C T 活用が適さない日数を除く〕（R 5 年度平均活用率は 5 0 . 3 %）</li> <li>第 2 期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準 1（1か月 45 時間以内、1 年間 360 時間以内）を満たす教職員の割合を 4 0 % 以上にする。（R 5 年度 2 月時点 3 7 . 5 %）</li> </ul> <p><b>学校の目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 7 7 % 以上にする。</li> </ul>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p><b>取組内容⑦【6 教育 D X デジタルトランスフォーメーション】</b></p> <p>●学習者用端末を積極的に活用する。</p> <p><b>指標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「心の天気」を原則毎日活用する。</li> <li>2 年生以上は学習者用端末を活用した学習を週 1 回以上おこなう。</li> <li>学習者用端末を用いたオンライン学習を年間 1 回以上おこなう。</li> <li>情報モラル教育実践を各学年で年間 1 回以上おこなう。</li> </ul>	
<p><b>取組内容⑧【7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</b></p> <p>●教職員全員の「協働」を重視して、余裕を持って働く職場環境改善を進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>毎週木曜日に「早く帰る D A Y 」を設定し、その日は、遅くとも午後 6 時までには退勤する。</li> <li>毎月の自分の勤務時間を把握する。</li> </ul> <p><b>指標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>時間外勤務時間基準 2（1 年間の時間外勤務時間が 720 時間を超えない）を満たす教員の割合を増加させる。（R 5 年度 2 月時点 8 7 . 5 %）</li> </ul>	
<p><b>取組内容⑨【8 生涯学習の支援】</b></p> <p>●読書への関心が高まる環境を整える。</p> <p><b>指標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現状の読書環境をよりよく改善するために、読書への関心を高められるような取り組みを行う。</li> </ul>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点